

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年1月14日 (2016.1.14)

【公開番号】特開2015-29786(P2015-29786A)

【公開日】平成27年2月16日 (2015.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2015-010

【出願番号】特願2013-162556(P2013-162556)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月19日 (2015.11.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

大当り抽選に当選した場合には図柄変動ゲームにて大当り表示結果が導出され、その後に特別入賞口を開放する大当り遊技を付与する遊技機において、

始動条件の成立を契機として、保留中の図柄変動ゲームを示す保留情報を記憶手段に記憶させる記憶制御手段と、

前記保留情報を特定可能な情報をもとに、前記大当り抽選に当選することとなる保留情報が含まれているか否かを事前判定する事前判定手段と、

前記大当り遊技が付与されている場合であって、前記事前判定の判定結果が肯定であるときには、該事前判定の判定結果が肯定であることを報知する報知演出の実行を制御する報知演出制御手段と、

大当り遊技中の演出の実行を制御する大当り演出制御手段と、を備え、

前記大当り演出制御手段は、前記大当り抽選に当選したことによって特定条件が成立すると、前記特定条件が成立していないときとは異なる演出を実行させ、

前記報知演出制御手段は、前記大当り遊技中に実行される演出に応じて前記報知演出の態様を異ならせることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記事前判定手段は、前記事前判定の判定結果が肯定の場合、前記保留情報を特定可能な情報をもとに前記大当り遊技を付与することになる大当りの種類をさらに事前判定し、

前記報知演出制御手段は、前記大当り遊技中に実行される演出と、前記事前判定手段が事前判定した大当りの種類とに応じて前記報知演出の態様を異ならせる請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記報知演出を実行させる条件を、前記事前判定手段が事前判定した大当りの種類が、前記大当り遊技の中で前記特別入賞口の合計開放時間が最も長い特別大当り遊技を付与し、該特別大当り遊技の終了後、遊技球の入球により前記始動条件が成立する始動手段への入球率を向上させる入球率向上状態を付与することになる大当りであることとした請求項 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

上記課題を解決する遊技機は、大当り抽選に当選した場合には図柄変動ゲームにて大当り表示結果が導出され、その後特別入賞口を開放する大当り遊技を付与する遊技機において、始動条件の成立を契機として、保留中の図柄変動ゲームを示す保留情報を記憶手段に記憶させる記憶制御手段と、前記保留情報を特定可能な情報をもとに、前記大当り抽選に当選することとなる保留情報が含まれているか否かを事前判定する事前判定手段と、前記大当り遊技が付与されている場合であって、前記事前判定の判定結果が肯定であるときには、該事前判定の判定結果が肯定であることを報知する報知演出の実行を制御する報知演出制御手段と、大当り遊技中の演出の実行を制御する大当り演出制御手段と、を備え、前記大当り演出制御手段は、前記大当り抽選に当選したことによって特定条件が成立すると、前記特定条件が成立していないときとは異なる演出を実行させ、前記報知演出制御手段は、前記大当り遊技中に実行される演出に応じて前記報知演出の態様を異ならせることを要旨とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

上記遊技機について、前記事前判定手段は、前記事前判定の判定結果が肯定の場合、前記保留情報を特定可能な情報をもとに前記大当り遊技を付与することになる大当りの種類をさらに事前判定し、前記報知演出制御手段は、前記大当り遊技中に実行される演出と、前記事前判定手段が事前判定した大当りの種類とに応じて前記報知演出の態様を異ならせてもよい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

上記遊技機について、前記報知演出を実行させる条件を、前記事前判定手段が事前判定した大当りの種類が、前記大当り遊技の中で前記特別入賞口の合計開放時間が最も長い特別大当り遊技を付与し、該特別大当り遊技の終了後、遊技球の入球により前記始動条件が成立する始動手段への入球率を向上させる入球率向上状態を付与することになる大当りとしてもよい。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 2 2 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 2 2 8 】

したがって、本実施形態では、以下に示す効果を得ることができる。

(1) 大当りの付与に伴って大当り遊技が生起されている場合には、付与されている大当りの内容(大当り判定時の遊技状態が変短状態であるか否か)に応じて異なる演出態様により、保留中の図柄変動ゲームの中に大当り変動となる図柄変動ゲームが含まれていることを報知する報知演出が実行される。このため、報知演出の演出態様に変化を与え、遊技者の興趣を向上させることができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 2 3 6】

(9) 非変短状態中に 1 6 R 大当り Z a が付与された場合、及び変短状態中に 1 6 R 大当り Z a が付与された場合には、大当り遊技中に報知演出を実行させる。したがって、大当り遊技の終了後に変短状態が生起される 1 6 R 大当り遊技において報知演出を実行し、遊技者の興趣を向上できる。

(1 0) 1 6 R 大当り Z a の付与に伴って 1 6 R 大当り遊技が生起されている場合には、付与されている大当り遊技演出(大当りの内容)に応じて異なる演出態様により報知演出が実行される。そして、大当り遊技演出(大当りの内容)は特定条件の成立を契機として変更されることから、報知演出の演出態様の变化にさらにバリエーションを持たせることができる。したがって、報知演出の演出態様に変化を与え、大当り遊技における遊技者の興趣を向上させることができる。